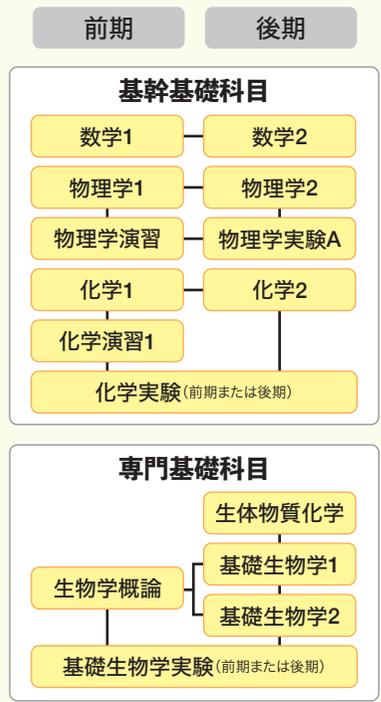




1年次 専門知識を体系的に学ぶ

1年次では、数学、物理学、化学など、バイオサイエンスの基礎となる学問を学ぶとともに、専門の教授陣による専門科目もカリキュラムに取り入れています。

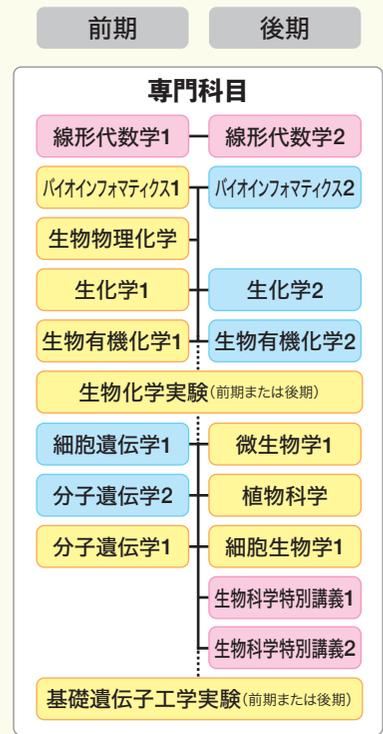


- 必修科目
- 選択必修科目
- 選択科目

※教員の異動などに伴い、開講されない選択科目がある場合があります

2年次 演習、実験で応用力を磨く

生物科学のコアとなる科目、さらに生物機能を巧みに利用・改变して有用物質の生産や医療、地球環境の保全に役立てるバイオテクノロジー関連の講義、演習、実験が行われます。



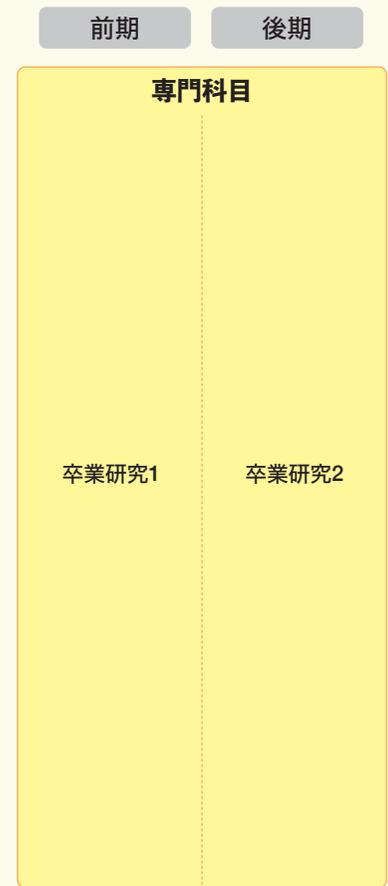
3年次 多様な専門領域を選択する

3年次には、学生の学問に対する意欲と自主性を尊重し、教員構成に応じた多様な選択に応えられるよう、幅広い専門選択科目や特別講義が用意されています。



4年次 研究を通して学ぶ卒業研究

少人数に分かれて研究室に所属し、教員の直接の指導のもとに専門テーマを追求する卒業研究を行います。原著論文を読み、活発なディスカッションを行いながら研究が進められます。



大学院 修士課程、博士課程

微生物からヒトにいたる生命科学の基本法則を探求するとともに、科学上の問題を解決するための周到な実験戦略を立案・遂行する能力を有する人材を育成します。

応用生物科学科の3つの方針

入学者受入れの方針

- ◎高校において本学科で学ぶために必要な基礎知識と学習能力を備えている人
- ◎生物科学の専門的な知識や技術の習得に必要な能力がある人
- ◎将来国内外で広く活躍するために必要な基礎的な素養があり、活躍に意欲がある人

教育課程編成・実施の方針

- ◎生命の本質を探究する理学と学際的な連携分野の専門教育・専門研究
- ◎自然・人間・社会にかかわる幅広い教養教育
- ◎新たな科学技術の創造に活躍が期待される人材育成等の目的を実現するための学士の教育課程を編成 - 人材育成教育

卒業認定・学位授与の方針

- ◎実力主義の伝統を堅持しつつ、生物科学の基礎と応用を習得する
- ◎高い専門性と倫理観、国際的な視野を身に付ける
- ◎本学科で定める所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定し、学士(理学)の学位を授与する

- ※ 教職免許状が取得できます(教職科目)【中学校・高等学校教諭1種免許状(理科)】
- ※ 大学院の講義を4年生から受講できます【学部・大学院「6年一貫教育コース」(学部教育3年+大学院研究3年)】
- ※ 学科を越えて広く学べます【大学院「横断型コース」(医理工学際連携、農理工学際連携、教職)】
- ※ 海外留学支援制度があります【語学研修・正規科目履修プログラム】